



◀2月15日、区議会第1回定例会にて

施政方針の概要

～酒井直人区長が平成31年度施政方針を表明しました～

HP
詳しく
見る

区民のみなさんとともに、 着実に歩みを進めます

平成31年の区議会第1回定例会が2月15日に開会し、同31年度当初予算案などの議案を審議中です。開会に当たり区長が明らかにした、同31年度の区の方針等の概要を抜粋してお知らせします。

区政運営の基本は四つ

昨年6月に区長に就任して、次の四つを基本として区政運営を進めていきます。

1. 中野区を子育て先進区へ
るまち、中野
2. 安心して地域で暮らし続けられるまち、中野
3. 区民とともに進めるまちづくり
4. 区民と向き合う区役所への転換

「対話の区政」を実現します

これまでの区政の評価すべきところは継承し、時代の変化に合わせてながら推進し、充実を図ります。

一方、中野駅新北口駅前エリア再整備や、地域の子育て支援拠点のあり方など、区民のみなさんからさまざまなご意見をいただき、「対話の区政」実現に向けた手応えを感じています。また、区の組織の名称変更や事業の統合、行政評価制度の抜本的な見直しなど、区政をより効果的かつ効率的に運営できる体制づくりを行います。

魅力ある中野のために

世界経済では米中貿易協議の動向による影響、国内経済では、緩やかな景気回復が見られるものの、国による地方消費税等の税制度の変更など、

討会が取りまとめた構想を踏まえて、まちづくりの整備方針を明らかにしていくとともに、野方駅から井荻駅間の連続立体交差事業の早期実現を関係機関に強く働きかけていきます。

文化芸術施策の推進

文化芸術の振興は、活力ある地域社会のための重要な地域資源となり、シビックプライド(まちに対する愛着や誇り)を醸成するとともに、子どもたちの豊かな心を育みます。区内のどこでも気軽に文化芸術に触れられる環境づくりを進め、伝統芸能の継承者を育成し、文化芸術活動の振興に取り組みます。

急速に進歩するAIやICTの活用

AI(人工知能)を積極的に活用するなど定型業務を自動化し、業務の効率化及び行政運営コストの低減を図ります。

新しい区役所の整備に当たっては、これまでの仕事の進め方を見直すとともに、最新のICT(情報通信技術)を有効活用し、行政需要に適切かつ効果率的に対応していけるよう検討します。

大規模災害への備えと安全・安心なまちづくり

木造住宅密集地域において、避難道路の整備や建物の不燃化・耐震化等を促進します。特に危険性が高い

区を取り巻く状況は予断を許しません。区が、将来にわたって魅力ある自治体であり続けるため、さまざまな課題に対応し、取り組んでいきます。**安心して子どもを産み、育てられる環境づくり**

これまでの子育て支援策に加え、経済的負担の軽減、親子で楽しめる公園の整備、子どもの貧困対策などに総合的に取り組めます。また、区立保育園や区立幼稚園、児童館については、今後の施設配置のあり方を再検討します。

子どもたちを地域全体で見守り、どのような環境に置かれた子どもも健やかに成長できる地域社会を目指していきます。

地域包括ケアシステム(※)の構築

高齢者の介護支援及び介護予防の取り組みを強化します。

また、子どもや障害のある人など、支援を必要とする全ての人を対象とした地域包括ケアシステムを構築します。すこやか福祉センターは、地域包括ケアの拠点として機能の拡充を図ります。

※地域包括ケアシステム＝住まい、医療介護、生活支援、見守り、予防、健康づくりが体的に提供され、可能な限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための仕組み

地区や重点的な取り組みを必要とする地区について、計画的に防災まちづくりを推進します。

また、地域の防災力を高めるため防災会や福祉、保健、医療等との連携強化に努めます。

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

現在建設中の(仮称)中野区立総合体育館が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の卓球の公式練習会場となりました。

今年も大会開催に向けた数々のイベントを実施します。この大会をきっかけとして、区民のみなさんの国際理解や障害者理解を促進し、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていきたく考えています。

新しい基本構想と基本計画の策定

現在、基本構想の改定に当たり、基本構想審議会の発足に向けて準備中です。新しい基本構想は、区民のみなさんが将来にわたって安心して暮らし続け、親しみや共感を持つことができるとして、10年後に目指すべき区の将来像を描きたいと考えています。

また、基本構想で描くまちの姿を実現するための総合計画として、5年間の基本計画を策定します。

これらの策定に当たっては、広範な区民参加、積極的な情報公開、区民

多文化共生の推進に向けた取り組み
年齢や性別、個人の属性、国籍などを超えて、多様な人々が、多様な生き方や価値観、生活文化を互いに尊重しあい、共生していくユニバーサルデザインの理念を実現する社会が求められています。

都市基盤やユニバーサルデザインの理解促進など環境整備を進めるとともに、LGBT(※)など性的少数者の理解促進の取り組みを進めます。

※LGBT＝レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った総称

中野駅周辺や西武新宿線沿線のまちづくり

中野駅周辺は、多様な人々の交流とにぎわいに満ちたシンボル空間の形成を目指します。中野駅新北口駅前エリアについて、引き続き適切な意見交換・情報共有を図りながら、区民のみなさんとともにまちづくりを進めます。また、中野駅西側南北通路・橋上駅舎等の早期開設を目指し、鉄道事業者と協力して取り組みます。

西武新宿線沿線は、新井薬師前駅や沿線駅周辺について、都心に近い立地を生かし、沿線地域全体のブランド力を高めます。また、野方駅以西についても、野方駅、都立家政駅および鷺ノ宮駅の各駅周辺地区まちづくり検

来年度予算案は暮らしを守り発展させるよう編成

一般会計予算は、1521億7千2百万円で、前年度に比べ6.6%増えました。特別会計との合計は、2269億5千5百万円で、約19.4億円増えています。

来年度予算は、新しい基本構想や基本計画の策定を視野に入れながら、区民のみなさんが安心して暮らし続けられるように、新たな政策を盛り込み、中野のまちや区民の暮らしを守り発展させる予算としました。

自立した自治体として将来に向けて着実に歩みを進められるよう、区民のみなさんの多様なご意見を受け止めながら、自らが先頭に立って、全力を尽くします。

区議会並びに区民のみなさんご理解とご協力をお願い申し上げます。施政方針説明といたします。

☆平成31年度予算案の概要は、4～7ページをご覧ください。なお、区長施政方針説明の全文は、**区HP**でご覧になれます